



分詞

All Rights Reserved, Copyright (C)

Donovan School of English


Overview (1)

- 分詞の位置づけ
- 準動詞の特徴
- 分詞の定義

- 形容詞(限定用法)
 - 前置修飾 & 後置修飾
- 形容詞(叙述用法)
 - **SVC & SVOC**
- 分詞(限定用法)
 - 前置修飾 & 後置修飾
- 分詞(叙述用法)
 - **SVC & SVOC**



Overview (2)

- 注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞
 - 注意すべき動詞
 - 注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞
 - 注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞の区別
 - 分詞構文
 - 分詞構文の定義
 - 分詞構文を用いるメリット
 - 分詞構文【付帯状況】【理由】【時】【条件】【譲歩】
 - 否定の分詞構文
 - 完了形の分詞構文
 - 分詞構文の位置
 - 独立分詞構文
- 

Overview (3)

- the + 形容詞
the + 分詞

- with + O + C

- with + O + C
- with + O + 形容詞
- with + O + 分詞
- with + O + 前置詞句
- 《応用》with + O + to 不定詞

- 独立分詞構文の定型表現



分詞の位置づけ

準不定詞

動名詞

分詞



準動詞の特徴

1. まえに意味上のSを伴うことができる。
2. うしろにC, O, Mを伴うことができる。



分詞の定義(1)

動詞が語形変化(=現在分詞 or 過去分詞)して、文中で**形容詞**として働く品詞を**分詞**と呼ぶ。

現在分詞 = <動詞の原形 + ~ing>

能動の意味を成し「~している」「~する」と訳される。

過去分詞 = <動詞の原形 + ~ed>

原則、**受動**の意味を成し、「~された」「~されている」と訳される。

(分詞(=「現在」分詞・「過去」分詞)は、時制に影響を与えない。)



分詞の定義(2)

形容詞は(代)名詞の性質を述べる語で、限定用法と叙述用法に大別される。

限定用法 = 名詞を直前または直後から修飾する用法。

叙述用法 = 文中で補語(C)の役割を担う用法。



形容詞

- (限定用法)
 - 前置修飾 & 後置修飾
- (敘述用法)
 - SVC & SVOC



形容詞(限定用法)(1)

①前置修飾

famous flowers

the effective treatment

a busy life



形容詞(限定用法)(2)

②後置修飾

- ✓ 語尾が-one, -body, -thingの代名詞を修飾するとき

something nice「なにかすてきなもの」

somebody nice「だれかすてきな人」

Recycling is nothing new.

「リサイクルは新しいことではない。」

⇒「リサイクルは今に始まったことではない。」

- ✓ 形容詞の直後に副詞句がつくとき

flowers famous among Japanese people

「日本人のあいだで有名な花」

the treatment effective against acne 「にきびに効く治療」

形容詞(叙述用法)(1)

① SVC

It(S) is(V) cold(C) outside(M).

Ken and Tom(S) remained(V) single(C).

Keep(V) warm(C).

He(S) gets(V) angry(C) when he(S) is(V) hungry(C).



形容詞(叙述用法)(2)

②SVOC

He(S) made(V) me(O) mad(C).

Keep(V) the window(O) closed(C).

Don't leave(V) the door(O) open(C).



分詞

- (限定用法)
 - 前置修飾 & 後置修飾
- (敘述用法)
 - SVC & SVOC



分詞(限定用法)(1)

①前置修飾

the studying student 「勉強している生徒」

the sitting boy 「座っている少年」

his broken laptop 「彼の壊れたノートパソコン」

used books 「古本」

※意味上主語は修飾されている名詞。



分詞(限定用法)(2)

②後置修飾

分詞のうしろにC, O, Mが来る場合は、名詞を後置修飾する。

the student feeling anxious

「不安を覚えている生徒」

feeling 一分詞、anxious -C

the student studying physics

「物理を勉強している生徒」

studying 一分詞、physics -O

the boy killed in the car accident

「その自動車事故で亡くなった少年」

killed 一分詞、in the car accident -M

※意味上主語は修飾されている名詞。



分詞(限定用法)(3)

The sunset seen from the window is beautiful.

「窓から見る夕焼けが美しい。」

seen 一分詞、from the window -M

the student given good advice 「良い助言を受けた学生」

given 一分詞、good advice -O

a cat called Oscar

「オスカーと呼ばれるネコ」

called 一分詞、Oscar -C

※意味上主語は修飾されている名詞。



分詞(叙述用法)(1)

①SVC

I(S) was(V) deeply(M) surprised(C) at the news(M).

「そのニュースを聴いて心底驚いた。」

The news(S) was(V) surprising(C).

「そのニュースは驚くべきものだった。」

It(S) kept(V) snowing(C) all night.

「一晩中、雪が降り続けた。」

Michelle(S) remained [kept](V) thinking(C) over the plan(M).

「ミシェルはその計画について考え続けた。」

Try not to get(V) lost(C) on the mountain(M).

「その山で迷子にならないようにね。」



分詞(叙述用法)(2)

②SVOC

The news(S) made(V) her(O) excited(C).

「その知らせは彼女をわくわくさせた。」

⇒「その知らせを聞いて彼女はわくわくした。」

My love for learning(S) keeps(V) me(O) studying(C).

「学習への愛が私に勉強させ続ける。」

⇒「学習が好きなので、私は勉強し続けられる。」

Please leave(V) the room(O) locked(C).

「部屋に施錠をしておいてください。」

I(S) have found(V) my key(O) gone(C).

「鍵が無くなっているのに気づいた。」



分詞(叙述用法)(3)

I(S) saw(V) the cat(O) lying(C) on the sofa.

「ソファにネコが横になっているのが見えた。」

I(S) heard(V) my baby(O) crying(C).

「赤ちゃんが泣いているのが聞こえた。」

I(S) heard(V) my name(O) called(C).

「自分の名前が呼ばれるのが聞こえた。」

I(S) couldn't make(V) myself(O) understood(C) in English.

「英語で自分の言うことを理解してもらえなかった。」

I(S) couldn't make(V) myself(O) heard(C) in the crowd.

「人混みの中で自分の声を届けられなかった。」



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞

- 注意すべき動詞
- 注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞
- 注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞の区別



注意すべき動詞(1)

amaze O(人) 「人を驚かせる」

The car has amazed me.

bore O(人) 「人を退屈させる」

× × ×

confuse O(人) 「人を困惑させる」

His idea confused me.

disappoint O(人) 「人をがっかりさせる」

Don't disappoint me.

excite O(人) 「人をわくわくさせる」

Chess excites me a lot.

注意すべき動詞(2)

interest O(人) 「人に興味を持たせる」

Chess really interests me.

satisfy O(人) 「人を満足させる」

What satisfies me most is *sushi*.

shock O(人) 「人をぎよっとさせる」

Has anything shocked you?

surprise O(人) 「人を驚かせる」

The news has surprised me.

tire O(人) 「人を疲れさせる」

The boring lecture tired me.

worry O(人) 「人を心配させる」

His behavior has worried his parents.

注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞 (1)

amazing 「(人を)驚かせる」

amazed 「(人が)驚かされる」=「(人が)驚いて」

The pasta was amazing.

「そのパスタは(人を)驚かせた。」

⇒「そのパスタは驚きだった。」

He is amazed at what has happened to his son.

「彼は息子に起きたことに驚かされている。」

⇒「彼は息子に起きたことに驚いている。」



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞 (2)

boring 「(人を)退屈させる」

bored 「(人が)退屈させられる」=「(人が)退屈して」

The movie was boring.

「その映画は(人を)退屈させた。」

⇒「その映画は退屈だった。」

Michelle is bored with her homework.

「ミシェルは宿題で退屈させられている。」

⇒「ミシェルは宿題に退屈している。」



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞 (3)

confusing 「(人を)困惑させる」

confused 「(人が)困惑させられる」=「(人が)困惑して」

Applying to graduate school can be confusing.

「大学院への出願は(人を)困惑させるかもしれない。」

⇒「大学院への出願は紛らわしいかもしれない。」

I'm confused about health insurance.

「私は健康保険について困惑させられている。」

⇒「私は健康保険についてわけがわからない。」



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞 (4)

disappointing 「(人を)がっかりさせる」

disappointed 「(人が)がっかりさせられる」=「(人が)がっかりして」

His death was disappointing.

「彼の死は(人を)がっかりさせた。」

⇒「彼の死にがっかりした。」

I was disappointed at his death.

「私は彼の死にがっかりさせられた。」

⇒「私は彼の死にがっかりした。」



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞 (5)

exciting 「(人を)わくわくさせる」

excited 「(人が)わくわくさせられる」=「(人が)わくわくして」

I want to do something exciting this Friday.

「今週金曜日に何かおもしろいことがしたい。」

The kids were so excited during class (that) I told them off after class.

「授業中、子供たちはとても興奮していたので、私は授業後に彼らを叱った。」



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞 (6)

interesting 「(人に)興味を持たせる」

interested 「(人が)興味を持たされる」= 「(人が)興味を持って」

Psychology is an interesting field.

「心理学は面白い分野です。」

I'm looking for a person interested in the field of psychology.

「心理学の分野に関心を持つ人を探しています。」



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞 (7)

satisfying

「(人を)満足させる」

satisfied

「(人が)満足させられる」 = 「(人が)満足して」



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞 (8)

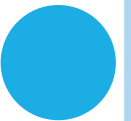
shocking 「(人を)ぎょっとさせる」

shocked 「(人が)ぎょっとさせられる」=「(人が)ぎょっとして」



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞 (9)

surprising	「(人を)驚かせる」
surprised	「(人が)驚いて」



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞 (10)

tiring 「(人を)疲れさせる」

tired 「(人が)疲れて」



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞 (11)

worrying	「(人を)悩ませる」
worried	「(人が)悩んで」



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞の区別 (1)

「～させる」という意味の動詞の分詞に成り立つ法則がある。

→→→ 人 = 過去分詞 | 物事 = 現在分詞

- ✓ 第二文型はS=Cが成り立つので、Sの位置に人があればCの位置に過去分詞、Sの位置に物事があればCの位置に現在分詞がくる。
- ✓ 第五文型はO=Cが成り立つので、Oの位置に人があればCの位置に過去分詞、Oの位置に物事があればCの位置に現在分詞がくる。
- ✓ また分詞が名詞を修飾する際も、同様のルールは成り立つ。分詞が修飾する名詞が分詞の意味上主語になるからだ。

注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞の区別 (2)

Her test result(S) was(V) disappointing(C).

I(S) was(V) disappointed(C) at her attitude.

I(S) found(V) her test result(O) disappointing(C).

I(S) found(V) myself(O) disappointed(C) to hear her talk like that.

I want to forget about the disappointing test result.

The disappointed student didn't try to listen to me.



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞の区別 (3)

The baseball game(S) was(V) exciting(C).

The boy(S) seems(V) excited(C) about going to Kyoto.

What(S) makes(V) you(O) excited(C)?

What(S) will make(V) city life(O) more exciting(C)?

The boy excited about going to Kyoto likes watching sports.



注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞の区別 (4)

I(S) found(V) it(O) interesting(C) to read a story in English(O).

The teacher(S) keeps(V) me(O) interested(C) in science.

I have got surprising news.

He(S) looked(V) surprised(C) at the film's ending.

The slender girl(S) seems(V) worried(C) all the time.



分詞構文

- 分詞構文の定義
- 分詞構文を用いるメリット
- 分詞構文【付帯状況】【理由】【時】【条件】【譲歩】
- 否定の分詞構文
- 完了形の分詞構文
- 分詞構文の位置



分詞構文の定義

分詞構文とは...

主節の主語に情報を加える分詞句で、【付帯状況】・【理由】・【時】(・【条件】・【譲歩】)などの意味を成す。また原則、<分詞句>は<接続詞＋SV>で言いかえることが可能だ。

Many children watch TV, eating dinner.

「子供たちの多くが夕食をとりながらテレビを観る。」

(↑ 分詞句eating dinnerが主節の主語であるMany childrenに情報を加えている。)



分詞構文を用いるメリット

1. 接続詞を省略することができる
2. 主語の重複を避けることができる
⇒ 簡潔に情報を伝達することができる。



分詞構文【付帯状況】

【付帯状況】は主節に付帯する状況を表し、2パターン存在する。

《基本パターン》 同時 「～しながら」

Many children watch TV, eating dinner.

「子供たちの多くが夕食をとりながらテレビを観る。」

《応用パターン》 連続 「...して、それから～」

A bee showed up suddenly out of nowhere, stinging me on the arm.

(= A bee showed up suddenly out of nowhere, and stung me on the arm.)

「ハチがどこからともなく突如現れ、私の腕を刺した。」

分詞構文【理由】

Being too shy, she was fired.

(= Because she was too shy, she was fired.)

「彼女は内気すぎたので、解雇された。」



分詞構文【時】

Waiting at the station, she was hit on.

(= While she was waiting at the station, she was hit on.)

「駅で待っているときに彼女はナンパされた。」



分詞構文【条件】

Seen from the plane, the islands were very pretty.

(=If the islands were seen from the plane, they were very pretty.)
(慶應大)

「飛行機から見ると、その島々はとても魅力的だった。」

《応用》原則、慣用表現を除いて、分詞構文の直前にifやunlessが置かれる。

If changing your email password, remember to write it down on a small piece of paper.

(=If you change your email password, remember...)



分詞構文【譲歩】

《応用》原則、慣用表現を除いて、分詞構文の直前にwhileやthoughやalthoughが置かれる。

Although tiring, reading novels will help increase your vocabulary and heighten your imagination.

(= Although reading novels is tiring, it(=reading novels) will ...)



否定の分詞構文

かたち - < 否定語 + 分詞句 >

Not having a girlfriend, he will spend this Christmas alone.

(= Since he does not have a girlfriend, he will spend this Christmas alone.)

「彼には彼女がいないから、今年のクリスマスは一人で過ごすことになるだろう。」

Not knowing what to do, I telephoned the police.

(= Because I did not know what to do, I telephoned the police.)



完了形に分詞構文

- いつ — 分詞構文の内容が主節の内容よりも過去
かたち — < **having** + 過去分詞 >

Having finished my homework, I went out.

(= After I had finished my homework, I went out.)

「宿題を終えた後、外出した。」

Having been brutally killed, the victim looks awful.

(= Because the victim was brutally killed, he (she) looks awful.)



分詞構文の位置

1. 主節の前
2. 主節の後
3. 主語の直後（この位置に来る分詞構文は入試では応用だ。だが分詞構文とはそもそも主節の主語に情報を加える分詞句なのだから、主語の直後に置くことで読者の理解を容易にすることも多く、この用法は論文では多用される。）

Climbing Mt. Rokko, although tiring, is recommended.

「六甲山に登るのは疲れるがおすすめた。」

The student, not knowing what to do, kept studying.

「その学生は何をすべきか分からなかったので勉強し続けた。」



独立分詞構文



独立分詞構文

いつ — 分詞の意味上主語と主節の主語が一致しないとき

かたち — <分詞の意味上主語 + 分詞句>

Risa and Kaho being kind, everyone trusts them.

(= Since Risa and Kaho are kind, everyone trusts them.)

There being a traffic jam ahead of me, I decided to pull over at Starbucks.

(= Because there was a traffic jam ahead of me, I decided to pull over at Starbucks.)

「渋滞があったので、スターバックスに車を寄せることを決めた。」

the + 形容詞

the + 分詞

the + 形容詞

the + 形容詞で「人」や「もの/こと」を表すことができる。

the poor 「貧しい人々 (= 貧困層)」

the rich 「裕福な人々 (= 富裕層)」

the Japanese 「日本人」

the unemployed 「失業した人」⇒「失業者」

We have to deal with the unexpected.

「我々は予期しないことを処理しなければならない。」

the + 分詞

the + 分詞でも同様に「人」や「もの」を表すことができる。

The following is to be filled in by the recommender.

「以下は推薦者が記入してください。」

(東京大学外国学校卒業学生特別選考推薦書より)

the wounded 「負傷者」

the deceased 「故人」

with + O + C

- with + O + C
- with + O + 形容詞
- with + O + 分詞
- with + O + 前置詞句
- 《応用》with + O + to 不定詞



with + O + C

with + O + C で<付帯状況>または<理由>を表す。

訳 — 「OがCの状態」「OがCなので」

この場合、Cの位置にくるのは

- ① <形容詞>
- ② <形容詞に相当するもの(分詞、前置詞句など)>



with + O + 形容詞(1)

The boy sleeps with his mouth(O) open(C).

It's not nice to speak with your mouth(O) full(C).

With prices(O) incredibly high(C), I can't afford to eat lunch.

In Asia, only Thailand and the Philippines, with economic levels(O) significantly lower than Japan's(C), broke into the top 10.

(上智大 2014)



with + O + 形容詞(2)

with + 衣服 + on 「衣服を身につけた状態で」

with + 衣服 + off 「衣服を身につけていない状態で」

onやoffはここでは副詞だが、Cの位置にくることが可能だ！

I told you not to enter the room with your shoes(O) on(C)!

「靴を履いたまま部屋に入ってはいけないと言ったじゃない！」

Don't stay outside with your hat(O) off(C).

「帽子を外して外にいちやだめだよ。」



with + O + 分詞(1)

Yuta is sitting with his legs(O) crossed(C).

He stood with his hand(O) shading his eyes(C).

(文教大)

He lay on the sofa with his arms(O) folded(C) and soon fell asleep.

(センター試験 1998)

Rino got out of the room with tears(O) running down her cheeks(C).



with + O + 分詞(2)

His condition is getting worse and worse with his blood pressure(O) falling(C).

(川崎医科大 2010)

With dawn(O) approaching(C), I need to get my daughter ready for school.

With both the laptops(O) broken(C), I bought a new one.



with + O + 前置詞句(1)

The patient was standing with her elbows(O) on the back of a chair(C).

With crimes(O) on the rise(C), mothers are becoming careful to keep their children safe.



with + O + 前置詞句(2)

The party is clearly controlled by four or five men, with everyone else(O) under their thumbs(C).

(NZ Herald)

So it's not surprising that Germany has survived the recent crisis..., while Spain is a mess, with unemployment(O) at roughly 27 percent(C).

(Foreign Policy)



《応用》with + O + to 不定詞

with + O + Cの位置にto 不定詞がくる場合もあり、その場合は必ず<理由>を表す。

Moose first appeared on this Michigan island in the first decade of the 20th century, apparently by swimming from the mainland. With no predator(O) to challenge them(C), the moose population surged and devastated the island's vegetation in search of food. (大阪大 2014)

「20世紀の最初10年の間にヘラジカはこのミシガン州の島に現れたが、本土から泳いできたことは明白だ。それら(=ヘラジカ)と争う捕食者がいないので、ヘラジカの数は一急上昇し、食べ物を求めて島の植物を食べ荒らした。」



独立分詞構文の定型表現



独立分詞構文の定型表現 (1)

- ✓ Considering O 「Oを考慮すると」
- ✓ Given O 「Oを考慮すると」
- Given that SV 「SVを考慮すると」
- ✓ Seeing (that) SV 「SVを考慮すると」

Yuto behaves very well considering his age.

Yuto is tall given his age.

Ryo will surely get into his first choice of university, given that he has studied strenuously.

Seeing that his voice is shaking, he must be tense.



独立分詞構文の定型表現 (2)

- ✓ Frankly speaking 「率直に言うと」
Frankly speaking, I'm fond of your works.
- ✓ Strictly speaking 「厳密に言うと」
Strictly speaking, a 19-year-old student is not considered an adult.
- ✓ Generally speaking 「一般的に言うと」
Generally speaking, good teachers are far smarter than their students.
- ✓ Speaking of O 「Oについて言うと」
Speaking of Facebook, I hardly use it.



独立分詞構文の定型表現 (3)

- ✓ Judging from O 「Oから判断すると」

Judging from his appearance, he isn't from Japan.

- ✓ Supposing (that) SV 「もし～ならば」

- ✓ Providing/ Provided (that) SV 「もし～ならば」

(= As long as SV = Only if SV)

Supposing that country A is safer than country B, a majority of people will hope to live in country A.

You can use volunteer work as work experience, providing that it is related to the job application.

